

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCB\_2010bpi&bei(v.2.11)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社Dコム藤沢営業所増築工事	階数	地上3F
建設地	藤沢市桐原町15-2	構造	S造
用途地域	工業専用地域・指定なし(法22条地域)	平均居住人員	10人
気候区分		年間使用時間	3,285時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2014年10月2日
敷地面積	2,627 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業(株)
建築面積	1,788 m <sup>2</sup>	確認日	2014年10月2日
延床面積	4,668 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業(株)

外観/バース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
参照値  
建築物の取組み  
上記+ 以外の  
上記+

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能  
Q1 室内環境  
Q3 室外環境(敷地内)  
LR1 エネルギー  
LR2 資源・マテリアル  
LR3 敷地外環境

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.6

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 本計画は3階建ての総倉庫の機能性を重視する建物だが、高断熱の外壁材を採用、敷地内・屋上緑化の確保、防汚性の高い内装材の使用、自然換気の確保等、環境に対して可能な限り配慮した設計計画とした。		倉庫内の照明にはLEDを採用し、消費エネルギー量の削減に配慮した。
<b>Q1 室内環境</b> 各階上層4面とも片引き窓を設置し、十分な自然換気となるように配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 休憩室の内装クロスは防汚性の高いもの、床材は防汚性・耐摩耗性が高いものを採用し、維持管理に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構緑化及び建物緑化指数を合わせて20%以上を確保し、緑の量を確保した。また増築に伴う既存緑地の撤去は最小限に抑え、既存緑地を活かす計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 階段、トイレの照明は人感センサーを採用し、消費エネルギー量削減に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 主要構造部材の鉄骨は基準強度の高いものを採用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 屋根面に40%以上の屋上緑化を設置し、敷地外への熱的影響を低減する対策を行った。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される